

DENSO
Crafting the Core

株主のみなさまへ

第95期 中間事業報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

株式会社デンソー
(証券コード 6902)



取締役社長

有馬 浩二

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度第2四半期の業績は、生産増加や拡販により、売上収益は2兆3,635億円、営業利益は2,044億円と増収増益となりました。通期の見通しについては、上期の業績および市場環境を踏まえ、売上収益は5兆円、営業利益は3,900億円と上方修正いたします。

株主のみなさまへの利益還元は、当中間配当・期末配当ともに、5円ずつ増配し、年間では当初予想から10円増配の130円を予定しております。今後も株主のみなさまへの利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります。

当社は、この秋に「デンソーグループ2030年長期方針」を策定しました。これまで培ってきた「環境」、「安心」の価値をさらに磨き、お客様やパートナー、その先にいるすべてみなさまから「共感」していただくことで、私たちだけでは生み出せない新たな価値を創出していきます。また、この長期方針を実現するための道筋として、「デンソーグループ2025年長期構想」を策定しました。今後も持続的な成長を続けることで、すべての人に笑顔広がる未来を届け、より良い社会づくりに貢献してまいります。

引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月

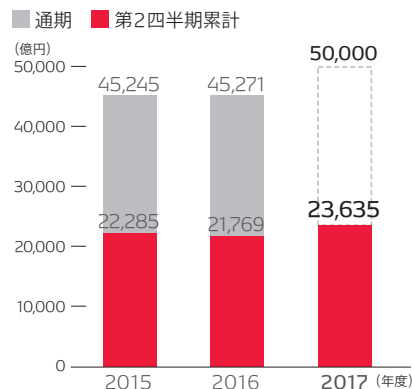
連結業績ハイライト

国際会計基準 (IFRS) に基づいて作成しています。
 なお、2017年度通期は見込みを記載しています。

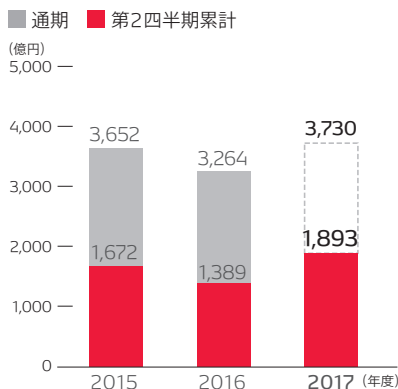
*1 親会社の所有者に帰属

*2 (配当総額+自己株式取得額) / 親会社の所有者に帰属する当期利益

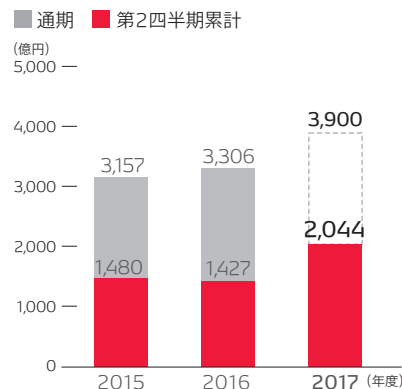
売上収益



営業利益 (除くその他収支)



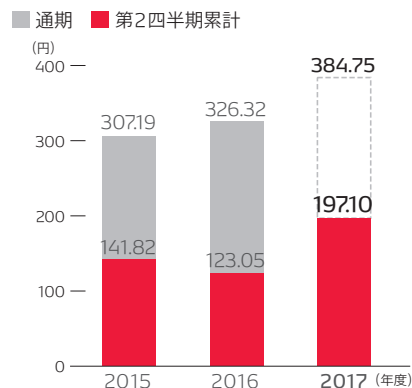
営業利益



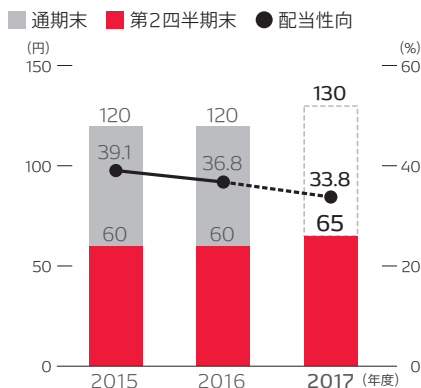
ポイント

売上収益は、車両の生産増加や拡販により、増収となりました。
 営業利益は、操業度差益や合理化努力により、増益となりました。

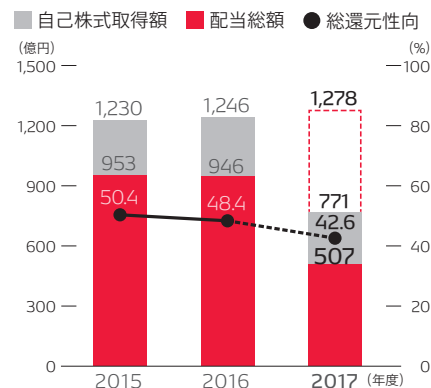
1株当たり四半期(当期)利益*1



1株当たり配当金/配当性向



総還元額及び総還元性向*2



ポイント

内部留保については、成長基盤強化や、将来の成長領域への投資に活用するとともに、自己株式の取得にも充当してまいります。また、今年度の配当金については、中間配当・期末配当ともに、5円ずつ増配し、年間では当初予想から10円増配の130円を予定しております。



1 レクサス新型LSに搭載される安全製品を開発

今秋以降、発売されるレクサス新型LSに、当社製の新型ステレオ画像センサとミリ波レーダが搭載されます。新型のステレオ画像センサは、3Dの画像処理技術により、車両が走行できる路面を検出することで、操舵制御による障害物回避の実現に貢献しています。更にカメラ性能の向上により、夜間の歩行者認識を可能にしました。また、新型のミリ波レーダは、電波の照射回数を増やすことにより車両前方を横切る歩行者の検知性能を向上させたことに加え、小型化により搭載性を向上させました。今後も、交通事故のない社会の実現を目指し、世界中のすべての人にとって安心して安全なクルマ社会の実現に取り組んでいきます。



2 半導体IP設計の新会社を設立



NSI-TEXE

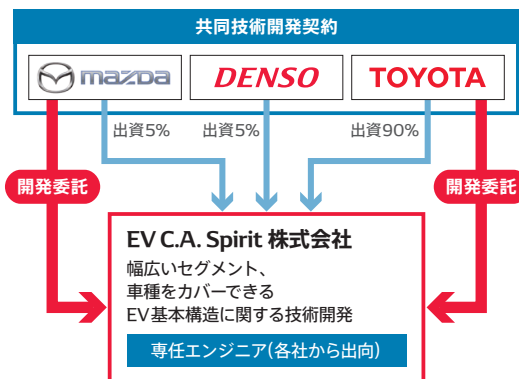
| | |
|------|-----------------------------|
| 社名 | 株式会社エヌエスアイテクス(NSITEXE,Inc.) |
| 設立年月 | 2017年9月 |
| 資本金 | 1億円 |
| 出資比率 | デンソー100% |
| 社員数 | 55名(発足時) |

高度運転支援・自動運转向けの高性能半導体が求められる中、その中核となる半導体IP*の開発・設計を行う新会社を設立しました。新会社では、クルマの各種センサや車外との通信から入手した周辺環境の膨大な情報を高速・効率的に処理し、最適なクルマの動作を判断する、新しい方式の次世代プロセッサを開発します。当社がこれまで長年にわたり培ってきた技術をベースに、消費電力を抑えつつ自動運転を実現できる半導体の開発に取り組んでいきます。

*半導体IP：半導体を構成する部分的な集積回路資産 (Intellectual Property)

3 マツダ・トヨタと電気自動車の共同技術開発契約を締結、子会社を設立

マツダ株式会社(以下、マツダ)とトヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)および当社は、電気自動車の基本構造に関する共同技術開発に向けた契約を締結し、本共同技術開発を効率的に進めるために新会社を設立しました。新会社では、マツダの「一括企画」や「モデルベース開発」、トヨタの「TNGA」、当社の「エレクトロニクス技術」など、各社の強みを持ち寄り、開発手法そのものを見直します。今回の共同技術開発を通じた効率的な開発により、各社のリソースをクルマ本来の価値追求に費やすことで、それぞれのブランド独自の付加価値のあるクルマを追及していきます。



| | |
|------|---------------------|
| 社名 | EV C.A. Spirit 株式会社 |
| 設立年月 | 2017年10月 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 出資比率 | トヨタ90%、マツダ5%、デンソー5% |
| 社員数 | 約40名(発足時) |

スポーツ

エアリービーズ日本一に輝く

女子バレーボール部のデンソーエアリービーズは、2017年5月7日、第66回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会で優勝し、日本一に輝きました。前回(第65回)のグループ戦敗退の反省のもとチーム内のコミュニケーションを活発化させ、体力や攻撃力の強化にチーム一丸で取り組んだことが優勝につながりました。また、チームが所在する愛知県西尾市とホームタウンパートナー協定を締結しました。今後も地域や社会のみならずさと力を合わせて、元気につながるスポーツ活動を進めていきます。



特集

1 デンソーグループ2030年長期方針

2030年に向けて目指す姿および行動指針を描いた長期方針を策定しました。

地球に、社会に、すべての人に、 笑顔広がる未来を届けたい。

2030年の目指す姿

地球にやさしく、すべての人が安心と幸せを感じられるモビリティ社会の実現に向け、新たな価値を創造し続ける企業

環境

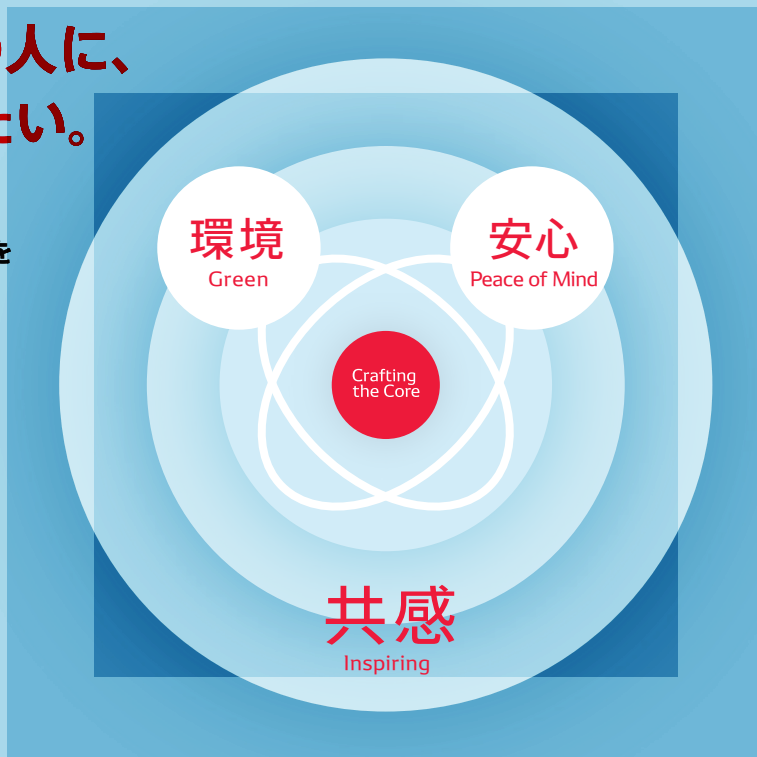
未来のために、もっと豊かな環境を。

安心

どこまでも安全に、いつまでも心地よく、すべての人へ。

共感

モビリティ社会に新たな価値を。人に笑顔を。



行動指針

2030年長期方針と目指す姿の実現に向け、デンソーがこだわる3つの姿勢とそれを支える想いを紹介します。

Open

幅広いパートナーとともに、豊かな社会づくりに取り組みます。

- 豊かなモビリティ社会づくり
- 志をともにする仲間づくり
- 新たな事業領域への挑戦

Fair

世界中のすべての人に、価値を届けます。

- 地球保全の自発的 pursuit
- すべての人の移動の拡大
- スマート機能の標準装備

Reliable

社会の期待を超える価値創造で、信頼に応えます。

- 潜在ニーズに応える価値創造力
- 総合的な技術力
- 圧倒的なものづくり力

Passion & Initiative

実現する情熱と本気の実行力

2 デンソーグループ2025年長期構想

長期方針の目指す姿を実現するために、2025年までの道筋を描いた長期構想を策定しました。

注力する事業

車両の伸びを上回る事業成長を続けるため、次の事業分野に注力します。



電動化



コネクティッド



自動運転



非自動車事業
(FA/農業)

経営改革 — 5本の柱 —

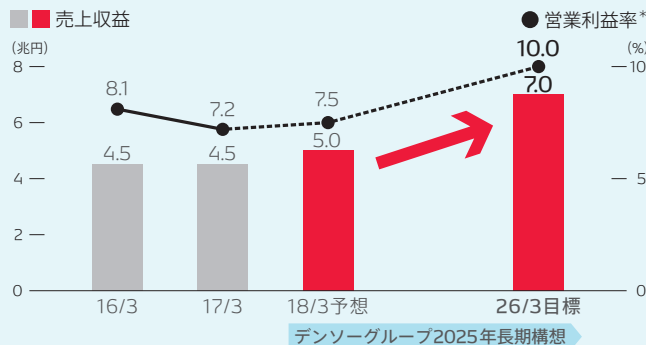
より早く意思決定し、より早く実行&リアクションするスピード感ある組織、活気ある現場へ変革するため、5つの柱を定めました。

- 1 / 車両視点と横串機能の強化 /
- 2 / 先端R&D機能の改革 /
- 3 / 事業部の進化と小さく強い本社 /
- 4 / グローバル経営の刷新 /
- 5 / 働き方の大改革 /

2025年度成長目標

* 除くその他収支

電動化・自動運転に伴うモビリティの新領域で成長し、2025年度売上収益7兆円、営業利益率*10%を実現してまいります。



地域別売上収益 (当社グループの所在地別)

● 欧州

売上収益 3,099億円
 前年同期比 10.6%増
 連結子会社 35社

● 北米

売上収益 5,481億円
 前年同期比 6.1%増
 連結子会社 28社

● 日本

売上収益 1兆4,069億円
 前年同期比 8.9%増
 連結子会社 64社

● アジア

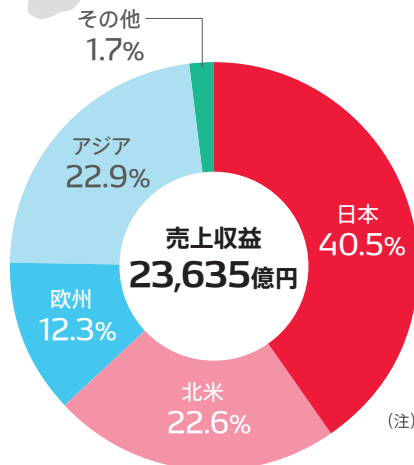
売上収益 6,192億円
 前年同期比 14.8%増
 連結子会社 60社

● その他*

売上収益 404億円
 前年同期比 32.7%増
 連結子会社 6社

*南米等

(注)セグメント間の内部売上収益を含む売上収益



(注)外部顧客に対する売上収益の比率

ポイント

- ・日本では、車両生産の増加や拡販により、増収となりました。
- ・海外では、車両生産の増加や拡販に加え、為替の影響により、増収となりました。

主な得意先

トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、フィアット・クライスラー・オートモービルズ、ゼネラルモーターズ、フォード・モーター、現代自動車グループ、マツダ(株)、スズキ(株)、ダイハツ工業(株)、(株)SUBARU、フォルクスワーゲングループ、日産自動車(株)、日野自動車(株)、いすゞ自動車(株)、BMW、三菱自動車工業(株)、メルセデス・ベンツ、ボルボ・カーズ、グループPSA、ジャガーランドローバー 他

製品別売上収益

サーマルシステム

売上収益 7,111億円

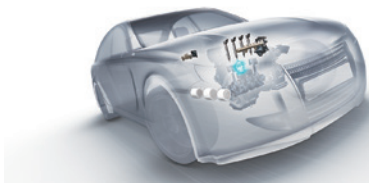
前年同期比 7.2%増



パワートレインシステム

売上収益 6,043億円

前年同期比 8.9%増



インフォメーション&セーフティシステム

売上収益 3,838億円

前年同期比 8.1%増



エレクトリフィケーションシステム

売上収益 2,371億円

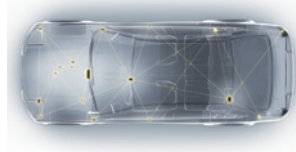
前年同期比 8.3%増



電子システム

売上収益 1,860億円

前年同期比 3.0%増



モータ

売上収益 1,526億円

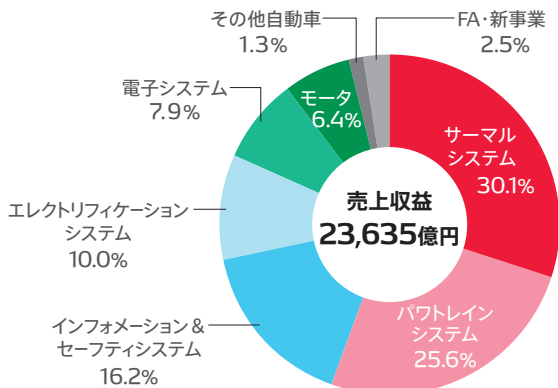
前年同期比 5.2%増



FA・新事業

売上収益 585億円

前年同期比 80.1%増



ポイント

- ・サーマルシステム製品は、中国や欧州地域での車両生産増加や拡販により、増収となりました。
- ・パワートレインシステム製品は、中国やアジア地域での車両生産増により、増収となりました。
- ・インフォメーション&セーフティシステム製品は、北米地域での予防安全製品の装着率拡大により、増収となりました。

四半期連結財務諸表

国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

連結財政状態計算書 (単位:百万円)

| 科目 | 2017年度 第2四半期末 | 2016年度末 | 科目 | 2017年度 第2四半期末 | 2016年度末 |
|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 資産 | | | 負債及び資本 | | |
| 流動資産 | 2,465,682 | 2,332,050 | 流動負債 | 1,140,235 | 1,103,811 |
| 現金及び現金同等物 | 716,318 | 793,550 | 社債及び借入金 | 175,622 | 84,139 |
| 営業債権及びその他の債権 | 869,735 | 876,454 | 営業債務及びその他の債務 | 798,346 | 861,161 |
| 棚卸資産 | 523,163 | 485,867 | その他の金融負債 | 15,468 | 14,484 |
| その他の金融資産 | 279,253 | 93,781 | 未払法人所得税 | 32,246 | 24,890 |
| その他 | 77,213 | 82,398 | 引当金 | 60,076 | 70,549 |
| | | | その他 | 58,477 | 48,588 |
| 非流動資産 | 3,012,646 | 2,818,712 | 非流動負債 | 689,153 | 599,869 |
| 有形固定資産 | 1,530,639 | 1,490,531 | 社債及び借入金 | 307,869 | 266,116 |
| 無形資産 | 47,531 | 22,451 | その他の金融負債 | 7,938 | 9,819 |
| その他の金融資産 | 1,254,386 | 1,111,945 | 退職給付に係る負債 | 234,981 | 228,576 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 86,192 | 92,198 | 引当金 | 1,517 | 1,529 |
| 退職給付に係る資産 | 36,215 | 43,868 | 繰延税金負債 | 120,412 | 78,243 |
| 繰延税金資産 | 29,602 | 30,266 | その他 | 16,436 | 15,586 |
| その他 | 28,081 | 27,453 | 負債合計 | 1,829,388 | 1,703,680 |
| 資産合計 | 5,478,328 | 5,150,762 | 資本 | | |
| | | | 親会社の所有者に帰属する持分 | 3,504,640 | 3,312,724 |
| | | | 資本金 | 187,457 | 187,457 |
| | | | 資本剰余金 | 265,985 | 265,985 |
| | | | 自己株式 | △57,660 | △31,191 |
| | | | その他の資本の構成要素 | 565,602 | 454,445 |
| | | | 利益剰余金 | 2,543,256 | 2,436,028 |
| | | | 非支配持分 | 144,300 | 134,358 |
| | | | 資本合計 | 3,648,940 | 3,447,082 |
| | | | 負債及び資本合計 | 5,478,328 | 5,150,762 |

連結損益計算書 (単位:百万円)

| 科目 | 2017年度 第2四半期累計 | 2016年度 第2四半期累計 |
|-----------------|-------------------|-------------------|
| 売上収益 | 2,363,472 | 2,176,914 |
| 売上原価 | △1,975,776 | △1,834,385 |
| 売上総利益 | 387,696 | 342,529 |
| 販売費及び一般管理費 | △198,355 | △203,590 |
| その他の収益 | 21,579 | 18,561 |
| その他の費用 | △6,474 | △14,802 |
| 営業利益 | 204,446 | 142,698 |
| 金融収益 | 20,441 | 18,315 |
| 金融費用 | △4,798 | △5,418 |
| 為替差損益 | 2,804 | △7,694 |
| 持分法による投資損益 | 3,888 | 2,650 |
| 税引前四半期利益 | 226,781 | 150,551 |
| 法人所得税費用 | △62,663 | △46,927 |
| 四半期利益 | 164,118 | 103,624 |
| 四半期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者に帰属 | 154,191 | 97,495 |
| 非支配持分に帰属 | 9,927 | 6,129 |

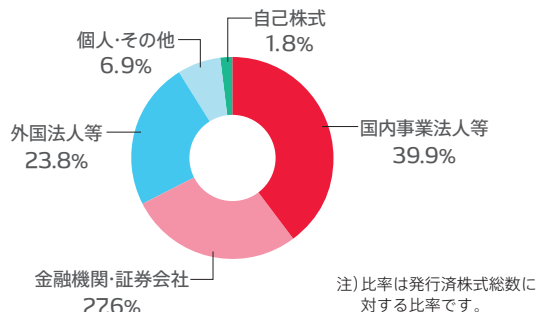
連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

| 科目 | 2017年度 第2四半期累計 | 2016年度 第2四半期累計 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 251,488 | 225,002 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △370,987 | △46,801 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 35,415 | △152,196 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 6,852 | △20,973 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △77,232 | 5,032 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 793,550 | 672,482 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 716,318 | 677,514 |

株式の状況 (2017年9月30日現在)

| | |
|----------|-----------------|
| 発行可能株式総数 | 1,500,000,000 株 |
| 発行済株式総数 | 794,068,713 株 |
| 株主数 | 57,245 名 |

所有者別株式分布状況 (持株比率、%)



会社の概要

会社データ

| | |
|----------|---|
| 社名 | 株式会社デンソー |
| 本社所在地 | 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511(案内) |
| 設立年月日 | 1949年12月16日 |
| 資本金 | 1,874億円 |
| 従業員数(連結) | 154,493名(就業人員ベース) (2017年3月31日現在) |

役員 (2017年7月1日現在)

取締役

■代表取締役

| | |
|--------|-------|
| 取締役会長 | 加藤 宣明 |
| 取締役副会長 | 小林 耕士 |
| 取締役社長 | 有馬 浩二 |
| 取締役副社長 | 丸山 晴也 |
| 取締役副社長 | 山中 康司 |
| 取締役副社長 | 若林 宏之 |

■取締役 *社外取締役

| | |
|-----|----------------|
| 取締役 | 槇野 孝和 |
| 取締役 | George Olcott* |
| 取締役 | 名和 高司* |

大株主 (上位10名)

| 大株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----------------------------|----------|----------|
| トヨタ自動車株式会社 | 188,949 | 24.23 |
| 株式会社豊田自動織機 | 69,373 | 8.89 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 39,317 | 5.04 |
| 東和不動産株式会社 | 33,309 | 4.27 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 32,750 | 4.19 |
| 日本生命保険相互会社 | 19,481 | 2.49 |
| デンソー従業員持株制度会 | 12,879 | 1.65 |
| アイシン精機株式会社 | 12,518 | 1.60 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 9,544 | 1.22 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 8,854 | 1.13 |

注) 1.当社は自己株式を14,311千株を保有していますが、上記大株主からは除いています。
2.持株比率は自己株式(14,311千株)を控除して計算しています。

監査役 *社外監査役

| | | | |
|-------|-------|-----|--------|
| 常勤監査役 | 岩瀬 正人 | 監査役 | 吉田 守孝* |
| 常勤監査役 | 新村 淳彦 | 監査役 | 近藤 敏通* |
| | | 監査役 | 松島 憲之* |

専務役員 *取締役兼務

| | | |
|--------|-------|-------|
| 槇野 孝和* | 臼井 定広 | 都築 昇司 |
| 安達 美智雄 | 下川 勝久 | 桑村 信吾 |
| 伊藤 正彦 | 村上 幸彦 | 加藤 之啓 |
| 加藤 俊行 | 伊奈 博之 | 加藤 良文 |

常務役員

| | | |
|----------------|--------|----------------------|
| 藤谷 一明 | 海老原 次郎 | Marco Di Rao Marotta |
| 篠原 幸弘 | 石塚 裕二 | 林 新之助 |
| 木村 和昌 | 山崎 康彦 | 影山 照高 |
| 近藤 文一 | 佐藤 久彰 | 向井 康 |
| 鶴田 真徳 | 隈部 肇 | 竹内 克彦 |
| 飯田 康博 | 松井 靖 | 荒川 智之 |
| 伊藤 健一郎 | 武内 裕嗣 | 松ヶ谷 和沖 |
| 梶田 宜孝 | 下方 敬子 | 杉戸 克彦 |
| Jack Helmboldt | 山内 豊 | |
| 山口 真介 | 飯田 寿 | |

株式の諸手続きに関するご案内

「配当金領収書」を受け取り、郵便局等で配当金をお受け取りの株主様へ

◎配当金を安全・確実にお受け取りいただくため、口座(下記①～③のいずれか)でのお受け取りをお勧めいたします。

| 配当金お受け取り口座 | 配当金の受取方法 |
|--------------------|--|
| ①証券口座 | 株式をご所有の証券会社の口座に振り込まれます。(株式数比例配分方式) |
| ②銀行口座 (全銘柄共通) | 全銘柄の配当金が一つの銀行(ゆうちょ銀行は指定できません)の口座に振り込まれます。(登録配当金受領口座方式) |
| ③銀行口座 (銘柄ごとに指定) | 銘柄ごとにあらかじめ指定した銀行等(ゆうちょ銀行を指定できます)の口座に配当金が振り込まれます。(個別銘柄指定方式) |

NISA口座の開設をご希望の株主様へ

配当金非課税の取り扱いを受けるには上記①(株式数比例配分方式)をご選択いただく必要があります。

単元未満(100株未満)の株式をご所有の株主様へ

当社株式の単元株は100株であり、単元未満株式は市場で売買できませんが、以下お手続きが可能です。

| | 制度の内容 | 例：株主様が80株をご所有の場合 |
|------|--|--|
| 買取制度 | 単元未満株式を当社に市場価額でご売却いただける制度 | <p>株主様(80株) → 80株 買取請求 → デンソー → 買取代金 支払 → 株主様(0株) ← 80株 譲渡 ←</p> |
| 買増制度 | 単元未満株式を1単元(100株)にするために、不足分を当社から市場価額でご購入いただける制度 | <p>株主様(80株) → 20株 買増請求 → デンソー → 買増代金 支払 → 株主様(100株) ← 20株 譲渡 ←</p> |

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会：6月
 配当金支払株主確定日：3月31日(中間配当を実施する場合は9月30日)
 単元株式数：100株
 証券コード：6902
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。

株式に関するお問い合わせ先について

◎配当金受取方法の指定(変更)・買取(買増)請求・住所変更等各種お手続きの窓口は、株式をご所有いただいている口座区分により異なります。

| ご所有株式の口座区分 | お問い合わせ先 |
|-----------------------------------|---|
| 証券口座 | 口座を開設されている証券会社 |
| 特別口座 (証券会社等で当社株式をご所有されていない株主様) | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先：東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |

IRメール配信サービスのご案内

IRメール配信にご登録いただきますと、投資家ニュースを電子メールでお送りいたします。ご登録はこちらをご参照ください。

<https://www.denso.com/jp/ja/investors/ir-mail/>



株式会社デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

TEL.0566-25-5511(案内)

www.denso.com/jp/ja



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。